

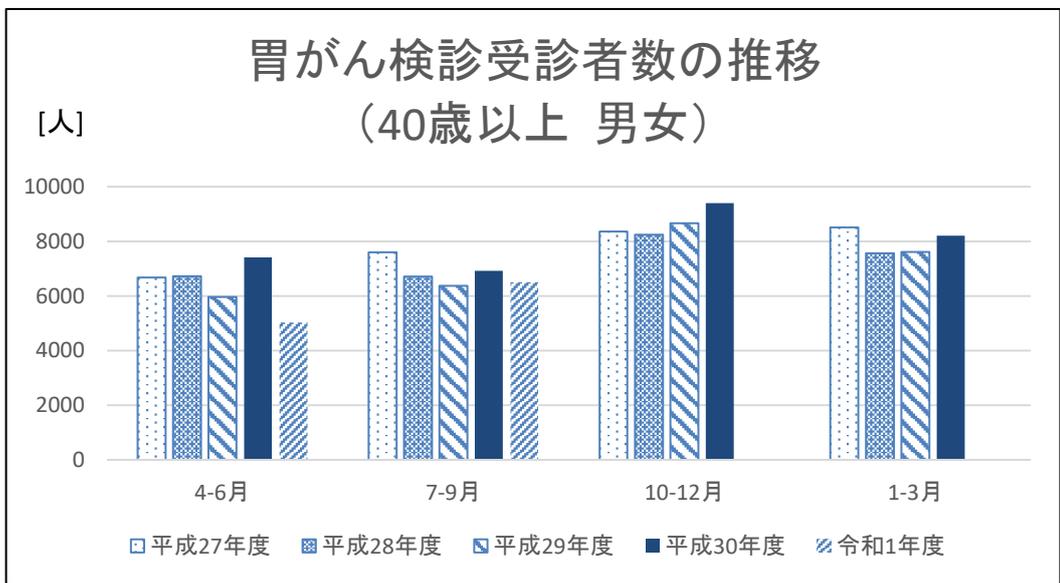
2、大阪市胃がん検診受診者数の推移について

資料1-2

(1) 大阪市胃がん検診受診者数

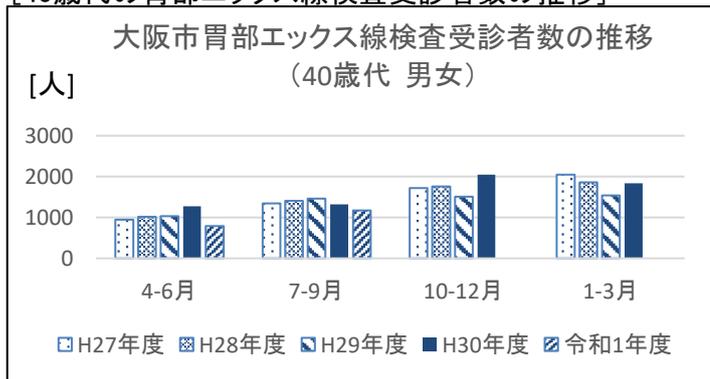
(令和1年度分は請求月・請求ベース) [単位:人]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
平成27年度	859	2,525	3,290	2,997	1,804	2,804	3,337	2,978	2,043	2,292	2,711	3,509	31,149	
平成28年度	983	2,543	3,194	2,505	1,859	2,349	3,046	3,316	1,885	1,850	2,578	3,141	29,249	
平成29年度	集団X線	327	1,178	1,449	1,072	700	958	1,173	1,084	618	619	723	379	10,280
	個別X線	417	1,117	1,472	1,395	1,045	1,197	1,475	1,455	1,149	961	1,316	2,276	15,275
	個別内視	0	0	0	0	0	0	747	544	416	368	381	587	3,043
	計	744	2,295	2,921	2,467	1,745	2,155	3,395	3,083	2,183	1,948	2,420	3,242	28,598
平成30年度	集団X線	332	1,212	1,267	806	590	1,040	925	1,150	804	729	756	334	9,945
	個別X線	487	1,165	1,366	1,209	919	1,031	1,705	1,710	1,270	1,073	1,581	2,186	15,702
	個別内視	454	565	568	507	394	421	629	688	524	438	548	565	6,301
	計	1,273	2,942	3,201	2,522	1,903	2,492	3,259	3,548	2,598	2,240	2,885	3,085	31,948
令和1年度	集団X線	283	825	699	760	595	967							
	個別X線	245	823	1,126	1,152	968	962							
	個別内視	191	384	454	417	301	374							
	計	719	2,032	2,279	2,329	1,864	2,303							

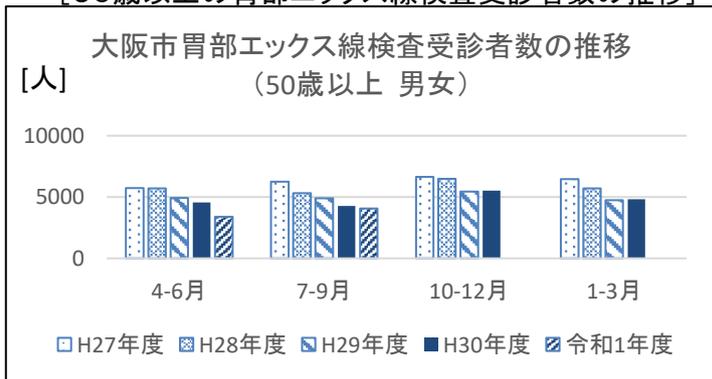


(参考) エックス線検査受診者数

[40歳代の胃部エックス線検査受診者数の推移]



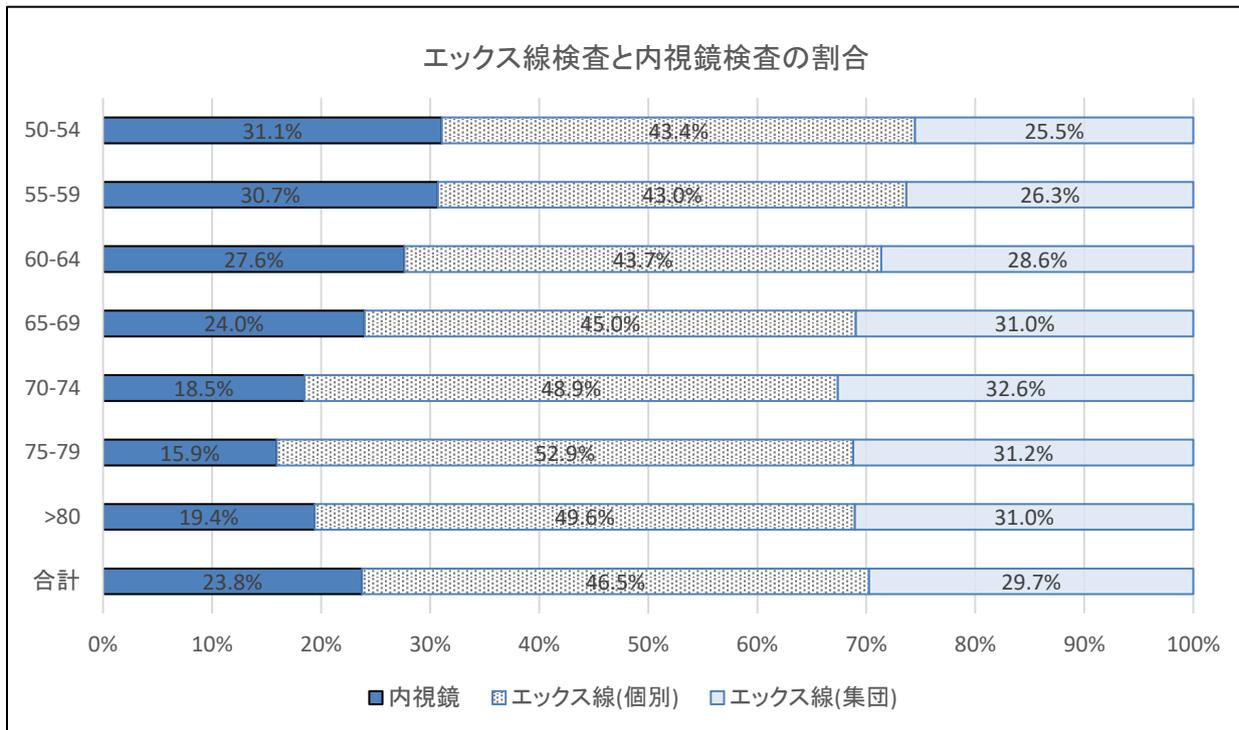
[50歳以上の胃部エックス線検査受診者数の推移]



3、胃内視鏡検査開始後の受診者について

**平成29年10月1日～令和1年9月30日受診者数:11,465名** (令和2年1月9日現在 請求分)

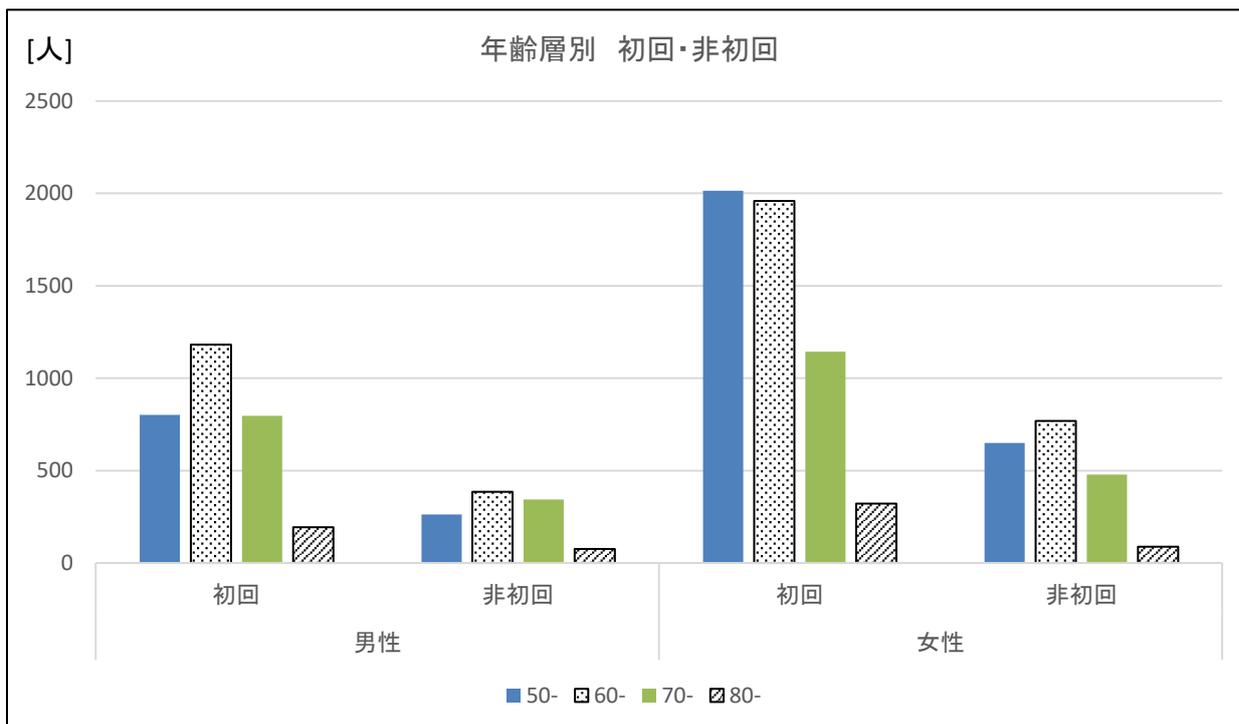
(1) 検診実施方法の割合について



(2) 胃内視鏡検査受診者について

※初回: 過去3年間に大阪市胃がん検診(胃部エックス線検査)の受診歴がない者

※非初回: 過去3年間に大阪市胃がん検診(胃部エックス線検査)の受診歴がある者



## (3) 生検実施率及び要精検率について

[単位:人]

検査医画像判定	生検なし	生検あり	生検結果						
			Group1	Group2	Group3	Group4	Group5	GroupX	不明 (その他)
A: 胃がんなし	9738	0							
B: 胃がん疑い	4	1590	1499	21	24	8	36	2	0
C: 胃がん	1	14	2				12		
D: 胃がん以外の悪性病変(疑い含む)	10	108	68	2	1		7	3	27
計	9753	1712	1569	23	25	8	55	5	27

総合判定	生検なし	生検あり
異常認めず(所見なし)	1564	0
異常認めず(軽度所見あり)	5435	0
異常認めず(生検あり)	0	1019
経過観察・要治療(生検なし)	2720	0
経過観察・要治療(生検あり)	0	559
要再検	20	34
要精検	14	100

## (4) 精密検査結果(追跡調査結果)について

[単位:人]

総合判定	当日生検	がん	がん (原発性早期 胃粘膜内)	がん (原発性早期)	がん (原発性)	がん (病理結果 照会中)	がん 以外の 疾患	異常 なし	照会中
要再検	生検有り	6	4		1	1	24		4
	生検無し	1			1		7	2	10
要精検	生検有り	57	24	8	8	17	36	2	5
	生検無し	0					10	1	3
計		64	28	8	10	18	77	5	22

※検査医が「胃がんなし」、ダブルチェック医が「胃がん疑い」と判定したケースについて

[単位:人]

ダブルチェック医判定	がん 以外の 疾患	異常 なし	照会中	計
B: 胃がん疑い	7	2	9	18

●要精検率  $\frac{\text{一次検診で「生検あり」と総合判定で「要再検」「要精検」該当者}}{\text{受診者}} = 15.2\%$ ●生検実施率  $\frac{\text{一次検診で「生検あり」}}{\text{受診者}} = 14.9\%$ ●がん発見率  $\frac{\text{がん(病理結果照会中を含む)}}{\text{受診者}} = 0.55\%$ ●陽性反応的中度  $\frac{\text{がん(病理結果照会中を含む)}}{\text{一次検診で「生検あり」と総合判定で「要再検」「要精検」該当者}} = 3.7\%$ 

## (5) 各年度まとめ

	要精検率	生検 実施率	がん発見率 (照会中含む)	陽性反応 的中度
平成29年度(後期)	14.0%	13.6%	0.66%	4.7%
平成30年度	15.2%	14.9%	0.54%	3.6%
令和1年度(前期)	17.2%	16.9%	0.47%	2.7%

※参考 胃部エックス線検査許容値(胃部内視鏡検査の許容値は2019年4月時点では作成されていない)

許容値	要精検率	がん発見率	陽性反応 的中度
	11.0% 以下	0.11% 以上	1.0% 以上

「国立がん研究センター がん情報サービスセンター」より